

南浜地区 復興事業説明会 議事録（摘録）

日 時：2011/12/15 18：00～19：30

対 象 町 名：門脇町五丁目

総参加者数：187名（参加地権者数：164名／241名）

1 開会

2 挨拶：基盤整備課長

3 説明事項（40分程度）

◇地区の復興計画について

◇まちづくりと住宅の建設に関わる事業等について

4 意見交換（50分程度）

- ・ 買い取り価格の確定の目安の時期は。
⇒国土交通省の担当とも協議をしています。もう少し時間をください。
- ・ 買い取り価格の提示は、何故、個別なのか。
⇒評価する基準はみな同じですが、面積や土地の形状が異なるため、個別での対応を考えています。
- ・ 固定資産税を納めているのだから、それを見れば簡単に算定できるのでは。
⇒方法の一つとして有るかと思います。国の補助金を導入するため、国の制度を確認して進めたい。
- ・ 東松島市は、国の指導を無視しているということか。
⇒東松島市には確認していませんが、新聞では独自と記載されていた。国の指導を受けながら、後で単価が変わらないように慎重に進めたいと思っています。
- ・ 区画整理事業の事業費の捻出は、どう考えているのか。一般的には保留地を売却して事業費に充てると思うが、今回の考え方は。
⇒公共施行で市施行を考えている。試算はしていませんが、みなさまの負担が無い様にと考えています。
⇒保留地を売却して行うのは組合施行であり、今回は、市施行ということなので、補助事業が基本になります。区画整理事業なので、みなさまの土地の一部を提供して頂くことになります。（オオバ）
- ・ あいさつで申し訳ないと言っていたが、復興基本計画で夢や希望の持てるまちとかあるが、どの位、地元の思いや希望を受けてくれるのか。

- ⇒市民の命が大事である。財産を守る、大津波から守ることを前提に計画をしている。
その中に夢や希望があると思って進めています。
- ・11/17の説明会のことで、「もう一度住めるまちに」と地元紙に掲載された。その中に、地元住民の意見聴取、震災後のアンケート調査、また、町内会長らが参加して2度開いた会議で公園化について概ねの了解を得たことから計画に盛り込んだとあるが。
⇒5/1からアンケートを実施。夏の初めと、終わりに町内会長に町内の様子、震災後の状況、みなさまの気持ちなどを伺った。その後、夏に意見交換会を行った。産業系の土地利用も検討したが、津波の勢いが凄いので公園とした。住みたいとの意見もあったが、戻って住みたくない、多くの方も亡くなっており悲しい思いをしたくないとの意見もありました。
 - ・9/13に門脇一丁目から五丁目の町内役員会を行った。門脇五丁目は、私のみの出席だった。その時は、3/11どこにいたのか、住みたいか、住みたくないかの意向を集めて欲しいとのことであり、何かを決めたとの認識はない。7/16（南浜意見交換会）の時も何かを決めたとの認識はない。また、この前の復興基本計画にも賛成した訳ではない。
⇒代表と話をし、町内会に呼びかけて意見交換会を開催した。今後、まちづくり検討会議で、みなさまの意見を聞いていく。津波シミュレーションでは、勢いが強いので公園の土地利用としました。
 - ・色々、アンケートや集会をやっているみたいだが、まったく集会の内容を聞いていないし、情報も無い。代表は誰が選んだのか。ただ、資料を作った言い訳だけをしている。（同意との声、パラパラ拍手）
⇒1万人の方からアンケート、町内会長に電話して集会の出席依頼、7月（意見交換会）は広告やチラシを貼って集まっていただきました。その方々の意見のみだけでなく、学識の方の意見も聞きながら決めた。
 - ・5月の混乱期中で地域に住みたい希望の方、全壊地域の方などきめ細かにアンケートを行っている市もある。今日は、町内集会よりも3倍の方が集まっている。
⇒震災後も市内に住みたいと多くの方が回答したことは認識しています。沿岸部にも人が住めるように検討を行ったが、約4千人が亡くなった悲しいことを繰り返さないように、高盛土道路を計画した。今次津波から住居系ゾーンを守るためには、これだけの距離が必要となりました。
 - ・高盛土道路の北側100戸、南側150戸の町内が、人間道路が色塗りされて分かれた。公園を縮小するなどの計画は無いのか。
⇒なるべく戻って来たいということは認識をしていましたが、国、学識などと検討し、今回の津波を守れる位置が、この場所だったと言うことを理解して頂きたい。

- ・公園ゾーンになるが、住居ダメ、事業ダメ、我々はどこに住めるのか、凄く不安で、一方的な話である。どこに住めるのか何案か提案して頂きたかった。ビジョンが見えない。
⇒高盛土道路、公園ゾーンは移転の協力をお願いした。どこに移転になるかと言うと蛇田を検討して頂ければと思います。今後、意向調査を行って進めて行きたいと思っています。今日、中々聞けなかったことがあれば、市に相談窓口があるので是非、来ていただければと思います。

- ・今は、アパートに住んでいるが、門脇五丁目の話し合いの情報が入ってこない。
- ・八間道路で公園と住居に分かれているが、すべてが流れた地域であり住むことに不安がある。八間道路で守れるのか。門脇五丁目に住むことが怖いと思っている人も居る。
⇒今次津波なら高盛土道路があるから守れると言うことであるが、津波が来たら逃げるのが基本と思っています。防災教育なども実施していきたいと思っています。意向を聞きながら進めたいと思います。
- ・住居系ゾーンは、利子などの支援はあるのか。
⇒住居系ゾーンの方々は、現位置での再建が可能ですので、支援はありません。
- ・災害公営住宅は3千戸で、全壊住宅の15%であるが、60から80%の対応をするのか。
⇒先日の説明会で門脇小学校の所に災害公営住宅を造れば入居するとの意見もありました。意向調査を行い、希望者が増えれば見直しを行っていきます。
- ・住居系ゾーンの買い上げは決まってるのか。
⇒住居ゾーンの買い上げ制度はありませんが、区画整理事業の中で買う場合もあります。
- ・住居系ゾーンの支援は。
⇒新しいまちづくりを行っていく区域であり、現時点で支援制度はありません。

- ・買い取り価格はどの位か。このスケジュールを見ると10年計画と思われる。土地の購入費が生活再建の原資になる。土地の買い取りが10年後になると、私たちは60や70歳になってしまう。国の制度を待っていないで早く買い取りを出来ないのか。ここに集まった人たちは、元の位置で再建を考えている人たちだと思う。東松島市、南三陸町は動き出している。
⇒正確にかつ、出来るだけ高い価格で買い取り出来るように国と協議をしています。分かり次第報告したいと思っていますので、ご理解願います。

- ・家を建てられる区域に該当するが、今の計画だと南浜町はいなくなるので残るのは門脇位である。怖いし、商業もなければ住める状況にない。門脇だけでまちづくりが出来るのか。区画整理事業をやっても人口が増えるとも思えない。今後の具体性の計画を見せてほしい。

⇒次回の意見交換会で具体を示せるように進めています。

- ・ 高盛土道路の高さは。津波シミュレーションが根拠とのことであるが、見せて頂けるのか。また、ホームページに掲載するのか。

⇒今後、準備して見せられるようにします。ホームページへの掲載は検討します。

⇒防潮堤は、津波と高潮で比較し、石巻の場合は高潮の方が高いので、高潮の高さで設定しています。また、高盛土道路は、南浜町の現地盤が現在 0.5m程度だと思うので、高さは 4.5m程度になります。高さについては、高くてもダメ、低くても漏れるとのことなので防潮堤 7.2mを越えてきても守れる高さである 5.0mとしました。

- ・ 買い取りについて国へ要望しているのか。

⇒3/11 以前の価格で買い取り出来るように要望しています。

以上